

No	よくある質問	回答	参考写真
1	夏前はなかなか生き物が見つけれませんでした。探すのに適した時期を教えてください。	対象となる動植物はそれぞれ見つけやすい時期があります。手引き4ページに今年の対象種の適期を載せていますので参考にしてください。ミニ図鑑でも種ごとに見られる時期を紹介しています。	
2	野鳥を見つけたかったが、姿を見ることすらほとんどできませんでした。	野鳥をもっと観察しやすいのは5~6月の子育ての時期です。特に早朝に公園などに行くと、たくさんのさえずりを聞くことができます。また、今年対象のキツツキは一年中市内で見られますが、木が多い公園でコ、コ、コ、コ…というドラミングの音（幹を叩く音）や声を聞いてさがしてみてください。	
3	トンボの種類がよく分からないので教えてください。	体型や大きさをグループをしぼり、体の模様を図鑑と比べて調べます。写真を送ってもらえれば事務局で調べて報告します。写真はなるべく真横から撮影して、胸や腹の模様を撮影してもらえると判定しやすくなります。	
4	マルハナバチの種類を調べるために写真を撮りたいが、動きがすばやくて難しいです。	マルハナバチが花に訪れているときなど、動きの少ないときに撮影するようにします。なるべく近づいて、日中でもフラッシュを使うときれいな写真が撮りやすくなります。斜め横から模様が分かるように撮ると判別しやすいです。	
5	今年の対象に含まれていない生物についても報告してよいですか。	参考情報として記録しておきますので、今年の対象グループの生き物と合わせて報告してください。ただし、記録コンテストの対象には含めません。	
6	今年の実施期間の前に見つけた生き物についても報告してよいですか。	参考情報として記録しておきますので、確認日を記載して報告してください。記録コンテストの対象には含めないことがあります。	

7	マルハナバチはハチのなかまで危険ではないですか。	マルハナバチも毒針を持つため、不用意に素手で捕まえたりすると刺されることがあります。しかし、花に来ている様子を観察するだけで刺されることはありません。人の接近に気付いたマルハナバチがまわり付くように飛び回ることがありますが、そのうち離れていきますので、そっとしておいて下さい。	
8	ヤンマをさがすのには、どこにいけばいいでしょう。	ヤンマのオスはなわばりを持ち、池などの水辺やその周辺を何度も周りながら飛んでいます。飛ぶスピードが速いので、飛んでいる様子で種類を見分けるのは難しいので、草の上に止まったときなどに、静かに近づいて写真で記録しましょう。	
9	マルハナバチかどうか分からないので、見て下さい。	写真をとって送っていただければ判定します。間違いやすいのは、セイヨウミツバチ（写真上）です。ミツバチは、マルハナバチよりもずっとスリムで、全体がベージュ色です。また、ヒゲナガハナバチ（写真下）は、灰色タイプと非常によく似ていますが、腹部の毛が少なく、オスは名前のおり長い触角を持っています。マルハナバチ図鑑に似ている昆虫が載っているので参考にして下さい。	 